

福岡市保健福祉総合計画各論(障がい者分野) 成果指標(修正案)

資料6

指標項目	初期値 (計画策定時)	現状値	目標値	備考(出典等)
まちの暮らしやすさ (暮らしやすいまちだと感じている人の割合)	-	41.6% (平成28年度)	45.0% (平成31年度)	【基本目標1】 福岡市障がい児・者等 実態調査 ※4
相談窓口認知度 (困ったときに相談できる窓口を知っている人の割合)	35.9% ※3 (平成25年度)	34.3% (平成28年度)	45.0% (平成31年度)	
災害時の孤立度 (「頼る人がいない」と回答した人の割合)	8.1% (平成25年度)	11.7% (平成28年度)	5.0% (平成31年度)	
安全・安心のための社会環境整備ができていると感じている人の割合	-	33.0% (平成28年度)	35.0% (平成31年度)	
将来の暮らし方 (将来、家族と同居できない場合に、希望する暮らし方として「一人暮らし」「共同生活できる」と回答した人の割合) ※1	51.9% (平成25年度)	49.8% (平成28年度)	60.0% (平成31年度)	
障がいのある人の就労に対する社会の理解度 (理解があると感じている人の割合)	28.7% (平成25年度)	33.0% (平成28年度)	40.0% (平成31年度)	【基本目標2】 福岡市障がい児・者等 実態調査 ※4
外出の頻度 (週に3回以上外出している人の割合)	64.6% (平成25年度)	62.9% (平成28年度)	75.0% (平成31年度)	
コミュニケーションで困っていることの有無 (困っている人の割合)	18.0% (平成25年度)	37.4% (平成28年度)	10.0% (平成31年度)	
啓発・交流の頻度 (「障がい者に対する理解を深める機会が少ない」と回答した人の割合)	19.7% (平成25年度)	20.2% (平成28年度)	10.0% (平成31年度)	【基本目標3】 福岡市障がい児・者等 実態調査 ※4
障がい者の人権に関する問題点 (「障がい者の意見や行動が尊重されないこと」と回答した人の割合)	17.1% (平成25年度)	12.7% (平成28年度)	8.0% (平成31年度)	【基本目標4】 福岡市障がい児・者等 実態調査 ※4
差別を受けた経験 (差別を受けたりいやな思いをした経験の割合)	29.2% (平成25年度)	23.0% (平成28年度)	20.0% (平成31年度)	【基本目標5】 福岡市障がい児・者等 実態調査 ※4
療育や訓練を受けた経験 (「受けた」または「受けている」人の割合) ※1	82.6% (平成25年度)	83.3% (平成28年度)	85.0% (平成31年度)	【基本目標6】 福岡市障がい児・者等 実態調査 ※4

※1 「将来の暮らし方」「療育や訓練を受けた経験」は、障がい児についての数値

※2 平成28年度に実施する障がい児・者等実態調査に基づき設定する。

※3 平成25年度の数値は、主要な各相談窓口(福祉事務所・保健所、あいあいセンター、障がい者110番、民生委員・児童委員、就労支援センター、社会福祉協議会)を知っていると回答した人の平均値を参考として記載

※4 実態調査は、3年ごとの実施であり、直近は平成25年度実施。本計画期間中の実施は、28年度と31年度に予定されているため、目標値は、平成31年度調査時の数値とする。